

第6回 ASEAN+3 エネルギー大臣会合共同声明（仮訳）

1. 第6回 ASEAN+3（中国、日本、韓国）エネルギー大臣会合は2009年7月29日にミャンマーのマンダレーにおいて開催された。会合の議長は、ミャンマーのルン・ティーエネルギー大臣、副議長は、中国の劉 崎 国家能源局副局長、日本の上田 隆之 経済産業省審議官、韓国のキム ジョンフン 知識経済部副大臣が務め、ASEAN 各国からもエネルギー大臣が出席した。
2. 大臣は、最近の国、地域、国際的なエネルギーの発展について意見を交換するとともに、地域の協カイニシアチブの進捗と計画を概括した。大臣は、2007年11月20日の ASEAN+3 サミットにおいて ASEAN+3 地域の協カと関係強化のために採択された10年間の ASEAN+3 作業計画の進捗と、関連する提言を認識した。ASEAN+3 作業計画（2007-2017）のセクションCは、リスト化された12のエネルギー協カ分野において、エネルギー、環境、気候変動及び持続可能な発展協カについて記載されている。

ASEAN+3 地域における最近のエネルギー発展

3. 世界的な景気後退と油価の乱高下、および新型インフルエンザの大流行は、本地域の長期的なエネルギー安全保障向上の継続的な努力にもかかわらず、ASEAN+3 地域の経済に非常に大きな影響を及ぼした。一方で、本地域のエネルギー需要は、中-長期的に急拡大することが見込まれており、エネルギー供給多様化のための首尾一貫した政策が求められる。
4. 大臣は、エネルギー分野における重要な問題や課題に取り組むため、より大きな協カと統合を呼び掛けた。また、大臣は、安全で、安定し、そして持続可能なエネルギーの未来を築くため、適切な地域的活動の制度化の重要性を強調した。

より親密且つ深いエネルギー協カと統合の呼び掛け

5. 大臣は ASEAN+3 高級事務レベル会合（SOME+3）の下で達成された、エネルギー協カの継続的な活動と進展を称賛した。課題が大きくなりつつある中において、大臣は ASEAN SOME+3 の現在の5つのフォーラム（エネルギー安全保障、石油市場、石油備蓄、天然ガス、新再生・省エネルギー）の強化に合意した。

エネルギー安全保障

6. 大臣は、本地域におけるエネルギー安全保障への取り組みのためには、反応の規模と行動の迅速性が最も重要であると断言した。二倍と予想されるエネルギー需要に見合うため、大臣は、一方では社会及び環境の分野にも取り組みつつ、十分且つ信頼できる供給を構築するため協調した努力が必要であることを断言した。

7. 大臣は、エネルギー安全保障政策策定のための指標として、本地域におけるエネルギー需要見通し調査の継続的な取り組みを称賛した。大臣は、SOE に対して『第二次 ASEAN エネルギーアウトルック』の更なる政策提言の調査を指示した。大臣は 2008 年 11 月 29 日にフィリピンにて開催された第 7 回 ASEAN+3 エネルギー安全保障フォーラムにおいて、エネルギー安全保障の議論拡大のために発表、議論された他の調査についても言及し歓迎した。
8. 本地域のエネルギーミックスにおける石炭への依存と重要性の増大に鑑みて、大臣は ASEAN+3 エネルギー安全保障フォーラムの不可欠な要素として、石炭協力の進展に満足の意を表した。これに関し、大臣は、情報共有及びより密接な協力のため、2009 年 5 月に ACE と JCOAL の間で締結された MOU を称賛した。大臣は、2008 年 8 月 24, 25 日にインドネシアで開催される第 7 回 ASEAN 石炭フォーラム (AFOC) を指摘し、+3 の国々に対し参加を促した。
9. 大臣は、2008 年 11 月 29 日にフィリピンのマニラで開催された第 7 回エネルギー安全保障フォーラムの報告について言及するとともに、フォーラムでのその他の議論や調査について歓迎した。

石油市場

10. 大臣は、世界経済において大きな課題となっており、産油国消費国双方の利益に反するものである油価の乱高下に対して深刻な懸念を表明した。大臣はエネルギー政策、エネルギー供給、市場、輸送路の分野における協力強化の必要性を強調した。大臣は早い段階での石油市場対話の実施及び産消国の協力を再認した。大臣は、余剰能力拡大計画をカバーする JODI の向上を通じた市場透明化と同時に、適切なレベルの余剰能力を確保するため上下流における投資の増大の必要性を強調した。
11. 大臣は、緊急時対応の向上、省エネ・代替エネルギーの促進のような分野での行動の力強い向上を断言した。これに関し、大臣は段階的な従来のエネルギーへの価格補助金の撤廃の動きを望ましいものとして認識した。なぜなら、市場ベースのエネルギー価格は、市場に対し省エネの向上と代替エネルギーへの投資増加のための適切なシグナルを市場へ送ることが出来るためである。大臣は、幾つかの国における最近のこの方向への動きを称賛するとともに、本地域における更なる進展を奨励した。
12. 大臣は、2008 年 11 月 29 日にフィリピンのマニラで開催された第 6 回 ASEAN+3 石油市場フォーラムでの結果及び提言に言及した。

石油備蓄

13. 大臣は、ACE が主催し JOGMEC がサポートした三回の ASEAN+3 石油備蓄ロードマップワーキンググループの会合における集中的な議論と進捗を歓迎

した。

14. 大臣はワーキンググループのメンバーが備蓄ロードマップの基本的な概念を共有したことを称賛するとともに、加盟国に対し、4つの原則（自主的で拘束力のない、相互利益にかなう、二国間・地域間協力の尊重、長期的な段階的アプローチに基づく）に基づいたロードマップ策定のための継続的な作業を奨励した。
15. 大臣は、2008年11月29日にフィリピンで開催された第7回ASEAN+3石油備蓄フォーラムでの結果及び提言に言及した。

再生可能エネルギー及び省エネルギー

16. 大臣は、エネルギー需要サイドに対して、継続的な高油価は短期的な見方に対し、明白に需要を抑制するものではないという調和のとれた地域的かつ責任ある行動を要求した。大臣は、広範な高度な省エネ技術とベストプラクティスの促進と、省エネ促進のための政策の実施が、生産性と成長を犠牲とすることなしに、効果的に需要を抑制することを断言した。大臣は、対話、人材育成、ネットワーキング、情報共有を通じた更なる省エネ協力に合意した。これに関して、大臣はお互いの省エネ政策の理解及び学習を深めるための、ASEAN事務局との政策に関連したワークショップ開催の提案を歓迎した。
17. 大臣は、ASEAN+3地域における再生可能エネルギーの展開、発展、促進の向上の傾向に言及した。既存のエネルギーの需給のギャップの増大を認識し、大臣は、需要に見合うため、再生可能エネルギー開発の加速の必要性を確認した。大臣は、実験から商業生産へと移行するため、再生可能エネルギー技術刷新へのより大きな投資を奨励するために密接に作業を行うことで合意した。
18. 大臣は、再生可能エネルギー技術の開発及び製造のため、専門家による助言や、技術の増強を通じた技術移転のためのPPPの促進に合意した。
19. 大臣は2009年3月23日にマレーシアのクアラルンプールで開催された、第5回新再生・省エネルギーフォーラムの報告に言及した。

天然ガス

20. 大臣は、本地域において天然ガスの重要性が増大しつつあることを認識した。大臣は、開かれた市場が天然ガスの輸出国、輸入国双方にとって有益であることを指摘した。これに関し、大臣は、国内外における十分な供給を確保するため、より大きな相互的、地域的な調整、協力を通じた天然ガス貿易の強化にも合意した。

2 1. 大臣はまた、中国が 2008 年 10 月 29、30 日に主催した第 5 回 ASEAN+3 天然ガスフォーラム及び第 4 回 ASEAN+3 天然ガスビジネス対話の開催を歓迎した。大臣は、これら二つの会合が新たな投資とパートナーシップを促進する助けとなることに期待を表明した。

2 2. 大臣は、2008 年 10 月 30 日に中国、北京で開催された第 5 回 ASEAN+3 天然ガスフォーラムの報告に言及した。

クリーン開発メカニズム (CDM)

2 3. 大臣は、温室効果ガスの削減の助けとするための機会を広げ、人材育成の強化を通じた持続可能な発展促進のための、クリーン開発メカニズム (CDM) 協力の更なる進展と協力に対する ACE と KEMCO の努力を歓迎した。を歓迎した。

原子力

2 4. 大臣は、気候変動とエネルギー安全保障への取り組みの手段として、原子力エネルギー計画への期待の拡大を認識した。原子力利用が含まれている、2007 年 11 月 20 日に採択された ASEAN+3 協力作業計画 (2007-2017) を認識し、大臣は、将来的な本地域のエネルギー需要に適応するための選択肢として、一方では安全、不拡大を維持しつつ、原子力開発イニシアチブを前進させることを合意した。これに関し、大臣は、人材育成、法整備、財政メカニズムなどを含む国際的なインフラ協力を歓迎した。

2 5. 大臣は、原子力平和利用に関する人材育成についての韓国からの提案を承認した。

その他

2 6. 大臣は、SOME+3 の下で進展中の活動と、将来の活動のための準備を称賛するとともに、2010 年にベトナムで開催される次回の ASEAN+3 エネルギー大臣会合への更なる検討と提言に期待する旨を表明した。